



山形に避難されている方へ伝えたいメッセージ

CONTENTS

- ・一面 しあわせココロの作り方(50) / バスツアー開催しました
- ・From 山形 3.11映像記録のこれまで、これから2016 開催
- ・From 福島 「福島こころつなぐ広場」福島市にて開催
- ・みんなの声 ・これまでの感謝 これからの願い
- ・[Special Interview] 鶴岡市 西田耕三さん・西田京子さん
- ・おすすめ情報 ・レシビ ・団体紹介 ・編集部より

第78号

つながろう! ささえあおう!
復興支援プロジェクトやまがた
TEL 023-674-7311
E-mail kizuna@yamagata1.jp
発行数: 2,800部

寄稿



しあわせココロのつくりかた 50



紛争の中、日々、命の危険を感じている子ども達。余命2か月を宣告されたガン患者。数えあげればキリがない程、この世には悲しみや痛み、理不尽が溢れています。そのような世界ですが、同じような状況下に置かれていても、笑顔の人もいれば、怒っている人、暗い顔をしている人もいます。なぜ、そんなにも違いが生まれてしまうのでしょうか。笑顔である人たちの共通点に注目してみると、今を生きていることへの感謝が、心に刻まれているようです。そして、人が喜ぶ言葉を素直に表現しています。今を大事にし、愛しているのです。

愚痴や不平不満の塊になっていると、人が離れていきますが、笑顔でいる人の周りには人が集まってきます。当然、相互作用が生まれますので、そこには、幸せの連鎖が生まれ、助け合

いの精神が育まれていきます。

わかっているけど出来ないという人は、自己嫌悪に陥りやすく、何かあると誰かのせいにしがちです。それでは、辛だけの人生になってしまいます。痛みや不安を抱えながらも尚、今を生きる人間としてここに存在しているならば、人生の一瞬一瞬を虚しいものとせず、実りあるものにしていきたいと思うのが、人間の本質とも言われています。

足りないことよりも足りていることに目を向ける、それが幸せへの第一歩です。自分の人生の物語を紡ぐのは自分自身。幸せな物語は、優しさと愛に満ちた幸せな心から作られていきます。物語の主人公はもちろん自分自身です。

カウンセリング・ルーム メール相談: ryokusuinomori@yahoo.co.jp

カウンセラー・スピリチュアルケアアドバイザー 志村友理



・ ・ ・ カウンセラー志村友理さんの
「シアワセコラム」がシリーズ50回を迎えました。 ・ ・ ・

～ほっこり温泉で若返り～バスツアー開催しました



10月25日(火)に米沢市社会福祉協議会の主催で、高畠町・南陽市社会福祉協議会の協力のもと、『ほっこり温泉』バスツアーを開催。約30名が参加しました。

さわやかな秋晴れの中、一行は白鷹町を經由し大江町へ。車窓からは、赤らんできた葉山連山や最上川などの美しい景色を、社協職員さんの美声でガイドしてもらいなが

ら、左沢城跡でもある、楯山公園へ。散策後、『テルメ柏陵』に到着。アユの塩焼きが絶品な昼食を楽しみ、お待ちかねの温泉タイム。乳白色のしっとりとした温泉でお肌もツヤツヤ。みなさんグッと若返っていましたよ。帰り道では朝日町名物のリンゴを買い求め、車内からは早くも次回の開催を待ち望む声が聞こえていました。



From 山形

311映像記録の
これまで、これから2016 開催



報告が行われ、その後東北芸術工科大学映像学科の学生達が主体となり製作された作品「あの日を生きた私たち」の上映が行われました。学生達が知人や友人を頼って被災者のインタビュー60人に挑んだこの作品では、山形県内に避難している方のインタビューも収録されており、震災当時の体験や、震災の時に助けられた事などを話す一人ひとりの体験者の姿が映し出されていました。

後半は、リアス・アーク美術館の山内宏泰氏・東北学院大学の金菱清氏・郡山コミュニティ放送の鈴木美貴子氏を迎えディスカッションが開かれ、震災の情報を発信する難しさや、記録を残し続ける事の意義などが話合われました。

11月6日、山形市内の新たな文化拠点「とんがりビル」1階で、認定NPO法人山形国際ドキュメンタリー映画祭主催による上映会&ディスカッション「311映像記録のこれまで、これから2016〜小さな物語の積み重ねから立ち上がるもの〜」が開催されました。

3.11映像記録のこれまで、これから2016
小さな物語の積み重ねから立ち上がるもの

11月6日(日)

13:00 YDFP 311ドキュメンタリーフィルム・アークアイズ 公開報告
13:30 「あの日を生きた私たち」学生制作映画公開(上映時間:1時間30分)

15:00 ディスカッション・ディスカッション

3.11映像記録のこれまで、これから2016〜小さな物語の積み重ねから立ち上がるもの、
報告者:東北芸術工科大学映像学科学生(山形県立芸術文化センター)

山形県立芸術文化センター(山形市山形) 山形国際ドキュメンタリー映画祭
山形県立芸術文化センター(山形市山形) 山形国際ドキュメンタリー映画祭
山形県立芸術文化センター(山形市山形) 山形国際ドキュメンタリー映画祭

KUGURU 山形県立芸術文化センター

入場無料

主催:山形県立芸術文化センター(山形市山形) 山形国際ドキュメンタリー映画祭
後援:山形県立芸術文化センター(山形市山形) 山形国際ドキュメンタリー映画祭
協賛:山形県立芸術文化センター(山形市山形) 山形国際ドキュメンタリー映画祭

From 福島

寄稿
「福島こころつなぐ広場」
福島市にて開催



会場には地元の画家による絵画展、パステル和アートや昔ながらの竹細工を体験するコーナー、保養の相談などもあり、大人も子どもも気軽に立ち寄り楽しめる一日となりました。

午後からの講演会では「水俣に学ぶ復興のカタチ」をテーマに、水俣市民の大嶽弥生さん、飯館村村長選に出馬した佐藤八郎さんからお話をいただき、現在の福島に必要な復興とは何かを皆で考える時間を持ちました。避難者への支援打ち切りの動きや、甲状腺がんなど不安なことも多い福島の中で、集った方々が力を合わせて復興のカタチを探る意義深い企画でした。

(TEAM毎週末みんなで山形)

福島に暮らす人同士の心をつなぎたいという想いで企画された「福島こころつなぐ広場」が10月22日(土)にコラッセ福島にて開催されました。(主催は実行委員会)



三姉妹の母です。一番上の長女は福島に住んでいた記憶はなく、山形で産まれたと思っています。ばーちゃんが住んでるとこに帰る?と聞くと親に気を使い「いいよ」と言います。本当は友達がいる山形がいいってパパに話していました。親は地元が福島だけど、子はもう山形県民。ど~したもんじやろのーです。
(南相馬市→上市市・30代女性)

米沢と福島を度々行ったりきたりしてま
す。どちらも大切な県です!!
(福島市→米沢市・40代女性)

昨年以上にスポーツの秋を過ごして
います。毎週末の息子達のサッカー追っ
かけにプラス運動会やマラソン大会。ヘ
トヘトになるし、たまにはゆっくり過
ごしたいと思います…だけど楽しい~(笑)
しかし、やらなければいけない、いろ
んな書類が溜まる一方。苦手な苦手な
事務仕事…皆さんコツコツやっ
ていて凄いなあといつも思
います。わたしもコツ
コツ進めよう(汗)
(南相馬市→南陽市・30代女性)

米沢市へ来て、5年半。冬期は本
当に辛かったです。来市した最初の冬
に購入した冬タイヤがすり減って、今
年また新品に替えて、少し早いので
すが交換しました。と言う事はまだ
同市に居たいです。「住めば都」と
は良く言ったものですネ。
(福島市→米沢市・60代男性)



最近、山形県内病院で入院手術。福
島県内に戻っていたら、医師不足で上
手に対応出来たか疑問しています。
(南相馬市→米沢市・70代男性)

住宅が打ち切られることがきつかけ
で、家族とのあり方や、山形を一生の
住まいとするのかどうかを悩んでいる
ところです。1月には県に退去の返答
をしなければなりません。3ヶ月もあ
りません。住宅延長のみなさんの願
いが実現されますように。

「みんなの声」につぶやきを送ろう

<http://kizuna.yamagata1.jp/modules/ccenter/?form=2>



これまでの感謝・

これからの願い

最終回



- *社会へ**
行き場のなかつた私達を受け入れてくれるこの街に、この人達に、この場所に日々感謝しています。愛であふれる世の中になりますように♥
(福島市→米沢市・30代女性)
- *ご近所さんへ**
早起きしての雪かき、大変ですが、ご近所の方と話ができた、助け合えたり、と悪いことばかりではありません。これからもよろしくお願いします。見捨てないでこれからも助けてくださいね。
- *政府へ**
もつと避難者の声を聞いて欲しい、経済も大切ですが国民の事を考えて欲しい。
(南相馬市→山形市・60代女性)
- *みなさんへ**
これまで米沢で、色々支援頂きとても感謝しています。これから家族4人になるので楽しくすごせたらそれだけで幸せです。
(福島市→米沢市・30代女性)
- *社会へ**
今までの感謝をここで致します。交流をかさね、とじこもっていた自分がやつと山形の方々、また「花・はな会」でいろんな方々と出会い、元気になりました。たくさんさんのボランティアの方々本当
- *社会へ**
ありとうございます。今は短い時間パートにも出て楽しい毎日を送っています。ありがとうございます。
(山形市・60代女性)
- *友人へ**
いつも、話をきいてくれてありがとう。遠くにいても、そばに居てくれる。今は何もできないけど、少しずつだけど前に進んでいるから、安心してネ。
(南陽市・40代女性)
- *社会へ**
アパートの家賃を免除してもらえたのはとても助かりました。山形での慣れない生活も、色々なイベントなどで楽しめました。山形の人達は皆、親切で優しくしていただきとても感謝です。
(南相馬市→寒河江市・20代女性)
- *山形県の方へ**
娘と孫と避難してきました。地元に戻りたいけど、なかなか帰れません。いつか帰れる日まで、頑張りたいです。山形の方々、ありがとうございます。
(南相馬市→寒河江市・70代女性)



Special Interview

鶴岡市

地方史研究家・ノンフィクションライター
にしだ こうぞう
西田 耕三 さん

手芸作家「ECOHAND」製作者
にしだ きょうこ
西田 京子 さん



Q 震災の前は、どこで過ごされていましたか？

【京子さん】

以前は宮城県気仙沼市で実家のクリーニング業をしていました。大島にいる時に地震が起きました。2日経って、ようやく自衛隊のヘリコプターに乗って、本土に帰ってきました。夫と息子と会った後、その後3月16日に、息子の住む鶴岡市に来ることになりました。

【耕三さん】

震災の時は自宅にいて、戸締りをして靴一つ持って、高台にある市民会館に駆け上がりました。鶴岡に住む息子が地震後3日目に避難所まで車で迎えに来た後、高台の小学校で、自衛隊のヘリコプターから降りてくる妻とようやく会うことができました。

Q 山形に来てからは、どんな風に過ごしていますか？

【京子さん】

震災後は、失業保険をもらいながら、パソコン教室に通いました。そこで出会った友人は縫物が得意で、「一緒に手作り品を作らない？」と誘われた事がきっかけで、24年から家庭に眠っている生地などを活用して手作り品の販売を始めました。クリーニング業をしていた時の営業力を生かして、薬局や本屋など、市内のお店を回って

販売をお願いしました。鶴岡は市民の手芸文化が深い場所で、購入者も「もったくとして欲しい」という要望を言ってくれます。今では産直など市内の5店舗で作品を販売しています。

鶴岡市に来てから、息子が結婚して子どもも生まれました。家の事をしながら、空いた時間を見つけて手作り品の製作をしたり、販売店に行つて売れ行きを見たりしながら過ごしています。手仕事があると張合いがあつて、楽しみながら続けます。色んな場所まで来た友人も増えました。避難した当初は、県外へ来てしまつて、申し訳ないような気持ちもありましたが、今はようやく落ち着いて過ごしていこうと思つています。

【耕三さん】

妻が手作り品を作るという時、「環境を考えたIIエコロジカル」と「手作りIIハ

ンドメイド」を掛け合わせ、「ECOHAND(エコハンド)」という名前をつけました。手仕事があるのは、とても良い事。

私は気仙沼市では、気仙沼の地域史学や宮城県全体の歴史誌、政治家・小山東助や400年前に「三陸海岸大津波」を目撃したセバスチャン・ビスカイノの探検記などの他、漁協史や農協史も手がけました。他にも、宮城地域史学協議会を作つて、地域史学の研究を続けてきました。河北新報では、エッセイを連載していました。今でも時々依頼があります。鶴岡でも、荘内日報にエッセイを発表した他、仙台の博物館や文学館と関わつています。表面的な知識だけで分かつたようになるのは許せない気分。今は病気であまり動けません。こちらでも注蓮寺に取材をしたり、鶴岡市出身の映画監督について調べたりしています。



● 50代の時の耕三さん



● 耕三さんの著書は120冊以上



● 京子さんの作品

おすすめ情報

寺子屋子ども大学 特別授業

■いろいろな武道を楽しもう！～手裏剣・吹矢・弓・剣道～

武道研究者の竹田隆一教授に、日本の伝統的な武道の魅力を学びます。大学生のサポートのもと、弓、手裏剣、吹矢、剣道を体験します。

日時：12月11日(日) 9:30～(2時間半程度)

場所：山形大学小白川キャンパス 第二体育館 1階

参加費：100円(保険代)

持ち物：内ズック・水筒・汗ふきタオル、動きやすい服装でおこしください。

対象：小・中・高生(小学校4年生以上 定員24名 先着順)

申込締切：12月9日(金) 11:00まで

※申込方法：氏名・学校・学年・連絡先・希望授業名・参加時間帯を明記の上、メール・電話・FAXでお申し込み下さい。

【申込み・お問合せ】寺子屋子ども大学事務局(山形大学人文学部松尾剛次研究室内)

TEL & FAX：023-628-4871(平日午前) 担当：結城 / 090-4559-7623 松尾

E-mail：kmatsuo@human.kj.yamagata-u.ac.jp HP「松尾研究室へようこそ」

■楽しい書道教室～書き初めを極めよう！～

書道家の支部蘭蹊先生に、書道の基本からお正月の書き初めまで丁寧にご指導していただきます。

日時：12月25日(日)・午前の部 9:30～(2時間程度)
・午後の部 13:00～(2時間程度)

場所：真宗大谷派山形教務所(山形市木の実町9-26)

※駐車場有(無料)

参加費：100円(保険代)

持ち物：書道の道具、お手本、半紙(1,2年生は硬筆指導・習字の指導も可)

対象：小・中学生(定員 午前・午後、各回20名 先着順)

申込締切：12月22日(木) 11:00まで



15周年記念 霞城セントラルウィンターイルミネーション2016

■24F展望ロビー『ノエル デ スイウー ～天空のクリスマス～』

山形市内で一番空に近い霞城セントラルの展望ロビーが、この秋リニューアル！星空をイメージしたブルーのイルミネーションや流れ星が、夜景を望む窓に映り込みます。

点灯期間 11月1日(火)～2月19日(日) 16:00～23:00

■1階アトリウム『カジョセンのXmas イルミネーション2016』

アトリウムの大空間に、ピンクとホワイトのLEDが高さ約20メートルのツリーに輝き、15周年記念として、正面には「ANNIVERSARY 15」のエンブレムとバルーンのアーチが華やかに飾られます。

点灯式 11月23日(水・祝日) 18:00～

点灯期間 点灯式～12月25日(日) 9:00～22:00



場所：霞城セントラル(山形市城南町1-1-1)

お問合せ：霞城セントラル管理組合 TEL:023-646-7272

公式ホームページ <http://kajocentral.com/>

★ふっこ★よるごはんの会定期開催のご案内

毎週第1金曜日は「よるごはんの会」を開催しています。(連休などで第2金曜日に変更の可能性あり)

みんなでにぎやかに、よるごはんを食べましょう！

日程：12月9日(金)、1月13日(金)、2月3日(金)、3月3日(金) ※1月以降は予定

時間：各回共通 18:30いただきます！～20:15頃解散
場所：福島こころの公民館 fucco(ふっこ)
山形市東山形二丁目1-19

参加費：大人プレート500円、子どもプレート200円
(大人プレートからとりわけの場合は無料)

定員：各回20名程度

申込方法：【件名 ○月よるごはん申し込み】

参加者全員の氏名・子どもは学年・連絡先を明記して
mikatoku2289@yahoo.co.jp または fucco@kakehasi.jp
jpn.org までメール。または、電話 023-674-6013 まで
申込みください

知ってなっとく

司法書士さんに聞いてみよう すまいのひとことアドバイス

今回から、住まいの契約や手続きなどに詳しい司法書士会さんより、借上げ住宅が退去になる方へ向けて一言アドバイスをいただきます。



いよいよ来年の3月31日で福島県の自主避難者の借上住宅に関する契約が終了することとなります。

今のお住まいの入居を継続する場合、お引越しをして新たな物件でスタートをされる場合、**いずれの場合でも住宅に関する賃貸借契約等を結びなおす必要があります。**

現在の借上住宅は、物件の所有者が貸主、山形県が借主、皆様は入居者という立場でありましたが、今後は皆様は借主となって賃料を支払うこととなります。現在の物件を今後も継続して借りる場合であっても、契約の当事者が変わることとなりますので、今までの条件とは別な条件での契約となることも考えられます。

一般的には、契約時に敷金、礼金、仲介手数料等の費用が発生しますので、あらかじめお金の準備をしておく必要があります。尚、福島県による民間賃貸住宅等家賃補助事業にもとづく家賃、賃貸借契約にかかる初期費用の補助を利用する場合には、**福島県に対する申請が必要になります。**支援対象要件もありますので、あらかじめ確認をしておきましょう。

山形県への退去の届出は来年の**1月10日を目途に**提出する事になりますので、早めに準備を進めていきましょう。

ひと休み

赤かぶの甘酢漬け

レシピ提供：在来作物案内人 鈴木淳子さん

<材料>

赤かぶ 1kg
[A] 酢 120cc
砂糖 120g
塩 25g

<作り方>

- ① かぶを切って、調味料 (A) に入れ重石をして漬ける。
- ② かぶがしんなりしたら、上下をひっくり返して軽くもむ。
甘酢が全体にかぶるようにして、落し蓋をして重石をする。
二週間後ぐらいから食べられる。



☆ブログ「鈴木淳子の楽しむ食育」も
ご覧ください♪

<http://ameblo.jp/hanamizuki-junko/>



団体紹介

福島県民賃等補助金事務センター



避難指示区域外（平成 27 年 6 月 15 日時点）から避難されている方への応急仮設住宅の供与は来年 3 月で終了することとなりましたが、福島県では、家賃補助の申請・相談などを受け付ける窓口を 9 月 29 日に福島市内にオープンしました。申請書の記入の仕方や収入要件の確認など、補助金の申請手続きがスムーズに進むよう丁寧にサポートいたします。お電話や来所でも結構です。

【おもな業務】

- ①補助金の申請受付・相談
- ②申請書類の審査
- ③補助金の交付

【今後のスケジュール】平成 28 年 10 月 3 日～ 12 月 28 日（消印有効）：収入要件の事前確認（希望世帯のみ）

平成 28 年 10 月 3 日～：補助金の申請受付中です。

【ひと言メモ】申請受付が始まりましたが、ご不明な点等がありましたら、お気軽にお問い合わせください。

お問合せ
はこちら

福島県民賃等補助金事務センター（福島県生活拠点課）
（委託先：㈱トーネット）
〒960-8043 福島市中町 1-19 中町ビル 6F [福島県庁から徒歩 5 分ほど]
TEL：0800-800-0218 / 0800-800-0261 / 0800-800-0273（通話料無料）
受付時間：9 時～ 17 時（土日祝日、年末年始を除く）



支援センターのサイトをご覧ください → <http://kizuna.yamagata1.jp/>

編集部より

みなさまからの情報をお寄せください！

詳しくは復興ボランティア支援センターやまがたへ

復興ボランティア
支援センターやまがた



facebook



<http://www.facebook.com/fvsc.yamagata>

次号は **12月21日** 発行です

情報提供や寄稿は、
12月7日までに
お寄せ下さい。
お待ちしております！



避難者向けフリーペーパー「うるかむ」

発行元：つなごろう！ ささえあおう！

復興支援プロジェクトやまがた

〒990-2412 山形県山形市松山三丁目 14 番 69 号

「復興ボランティア支援センターやまがた」

TEL 023-674-7311 FAX 023-674-7312

E-mail kizuna@yamagata1.jp

WEB <http://kizuna.yamagata1.jp/>

* とうとう寒い冬に突入。冬は運動不足になりがちなので連日犬と散歩中です。11歳の愛犬は私より元気かも。(正)

* 取材でテルメ柏稜へ。初めて行きましたが、館内の床暖房に感動！廊下はもちろん休憩所の座敷までポカポカ。冬は最高ですね(結)

* 西田さんとゴジラが話題にあがったので、シンゴジラを見に行きました。放射能を出して移動するゴジラ！怖すぎです。(多田)

* 寒いのは嫌いだけど、この時期の大根は甘くてみずみずしくて大好き。軒下に干し柿が吊るされて、秋の終わりを感ずります。(海)

つなごろう NET

<http://tsunagarou.net/>



「うるかむ」に掲載されたこれまでの記事のすべてと、リアルタイムなおすすり情報、イベント情報、支援団体情報などを掲載しています。ぜひご覧ください。